

明石市環境審議会 自然環境部会（第 23 回）報告

○開催状況

日 時：令和 5 年 1 月 31 日(火)午後 2 時 00 分～

場 所：明石クリーンセンター 2 階研修室

○内 容

1 令和 4 年度 自然環境調査結果について

令和 4 年度 金ヶ崎公園自然環境調査業務 結果概要 【別紙 1】

2 令和 5 年度 自然環境調査について

特定外来生物クビアカツヤカミキリ被害状況調査 【別紙 2】

3 生物多様性あかし戦略推進会議の進捗状況について

◇大久保北部遊休地の自然環境調査について

◇特定外来生物ナガエツルノゲイトウ対策について 【別紙 3】





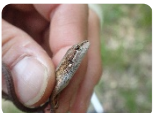
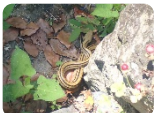


令和 4 年度 金ヶ崎公園自然環境調査業務 結果概要

2023 年 1 月 (株)地域環境計画

1. 調査項目・日程

項目	回数	調査日程	調査方法
動物	哺乳類	3 回 春季：2022 年（令和 4 年）5 月 24 日 夏季：2022 年（令和 4 年）7 月 7 日 秋季：2022 年（令和 4 年）9 月 15 日	目撃法・フィールドサイン法
		1 回 秋季：2022 年（令和 4 年）9 月 29 日～10 月 5 日	無人撮影法
	鳥類	4 回 春季（渡り時期）：2022 年（令和 4 年）5 月 16 日 夏季（繁殖期）：2022 年（令和 4 年）7 月 7 日 秋季（渡り時期）：2022 年（令和 4 年）9 月 29 日 冬季（越冬期）：2022 年（令和 4 年）12 月 19 日	直接観察
	爬虫類・両生類	3 回 春季：2022 年（令和 4 年）5 月 24 日 夏季：2022 年（令和 4 年）7 月 7 日 秋季：2022 年（令和 4 年）9 月 15 日	直接観察及び採取
	昆虫類	3 回 春季：2022 年（令和 4 年）5 月 24 日 夏季：2022 年（令和 4 年）7 月 7 日 秋季：2022 年（令和 4 年）9 月 15 日	直接観察及び採取
魚類・底生動物	1 回 夏季：2022 年（令和 4 年）8 月 17 日	直接観察及び採取	
植物	植物相	3 回 春季：2022 年（令和 4 年）5 月 13 日 夏季：2022 年（令和 4 年）8 月 10 日 秋季：2022 年（令和 4 年）10 月 5 日	直接観察及び採取
	相観植生	1 回 秋季：2022 年（令和 4 年）10 月 5 日	空中写真判読及び現地確認

2. 調査結果概要

哺乳類	確認は 2 種。[] は公園北部で自動撮影カメラによる確認、イタチは足跡による確認。 【確認種】 []、イタチ属の 2 種 【重要種】 [] 【外来種】 イタチ属※シベリアイタチの場合 	1 種確認
鳥類	公園内には樹林性の鳥類が多い。特に渡り・越冬期にはムシクイ類やヒタキ類などが確認され、一般のバードウォッチャーの利用も多く見られた。 【確認種】 キジバト、コゲラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、ハクセキレイなど 45 種   【重要種】 [] など 11 種 【外来種】 カワラバト（ドバト）、ハッカチョウ 	11 種確認
爬虫類	北浦池でミシシippアカミミガメ、水路でクサガメを確認。林床や草地でニホンヤモリやニホントカゲ、ヒバカリを確認。 【確認種】 ニホンカナヘビ、シマヘビなど 7 種   【重要種】 [] 【外来種】 クサガメ、ミシシippアカミミガメ  	3 種確認

両生類	両生類の確認は少ない。とヌマガエルが比較的多く確認された。		
	【確認種】ニホンアマガエル、ヌマガエルなど4種 	【重要種】  1種確認	【外来種】ウシガエル  ※確認環境
昆虫類	水辺ではトンボ類を確認。樹林ではカナブンやノコギリクワガタなどが樹液に集まる様子が確認された。林縁ではチョウ類が、草地ではバッタ類が確認された。		
	【確認種】ウチワヤンマ、ニイニイゼミ、タマムシなど222種 	【重要種】  など6種 6種確認	【外来種】確認なし
魚類	北浦池では水路からの流入部に魚類が多い。水路下流部のピオトープ区間でタモロコ、  を確認したが、それより上流の公園内流下区間では魚類の確認はなかった。		
	【確認種】ゲンゴロウブナ、モツゴ、タモロコなど7種 	【重要種】  2種確認	【外来種】コイ（型不明）、ブルーギル 
底生動物	護岸部でヒメタニシ、水生植物の多い場所でエビ類、アメリカザリガニなどを確認。トンボ類や水生甲虫類を含め、全体的に確認は少なかった。		
	【確認種】ヒメタニシ、カワナナ、スジエビ、ヒメガムシなど19種 	【重要種】  2種確認	【外来種】アメリカザリガニ 
植物	帰化、逸出、植栽種が24%を占める。樹林はコナラが多く、林床にはシダ類、水辺にはヨシ、ミゾソバなどの湿生植物が確認された。また、ナラ枯れが確認されており対策が課題となっている。		
	【確認種】コシダ、サルトリイバラ、ネザサ、ヤマハギ、コナラ、ミゾソバなど310種 	【重要種】  3種確認	【外来種】カモガヤ、オオフサモ、オオカワヂシャ、アメリカセンダングサなど28種 
相観植生	次ページに植生図を掲載		

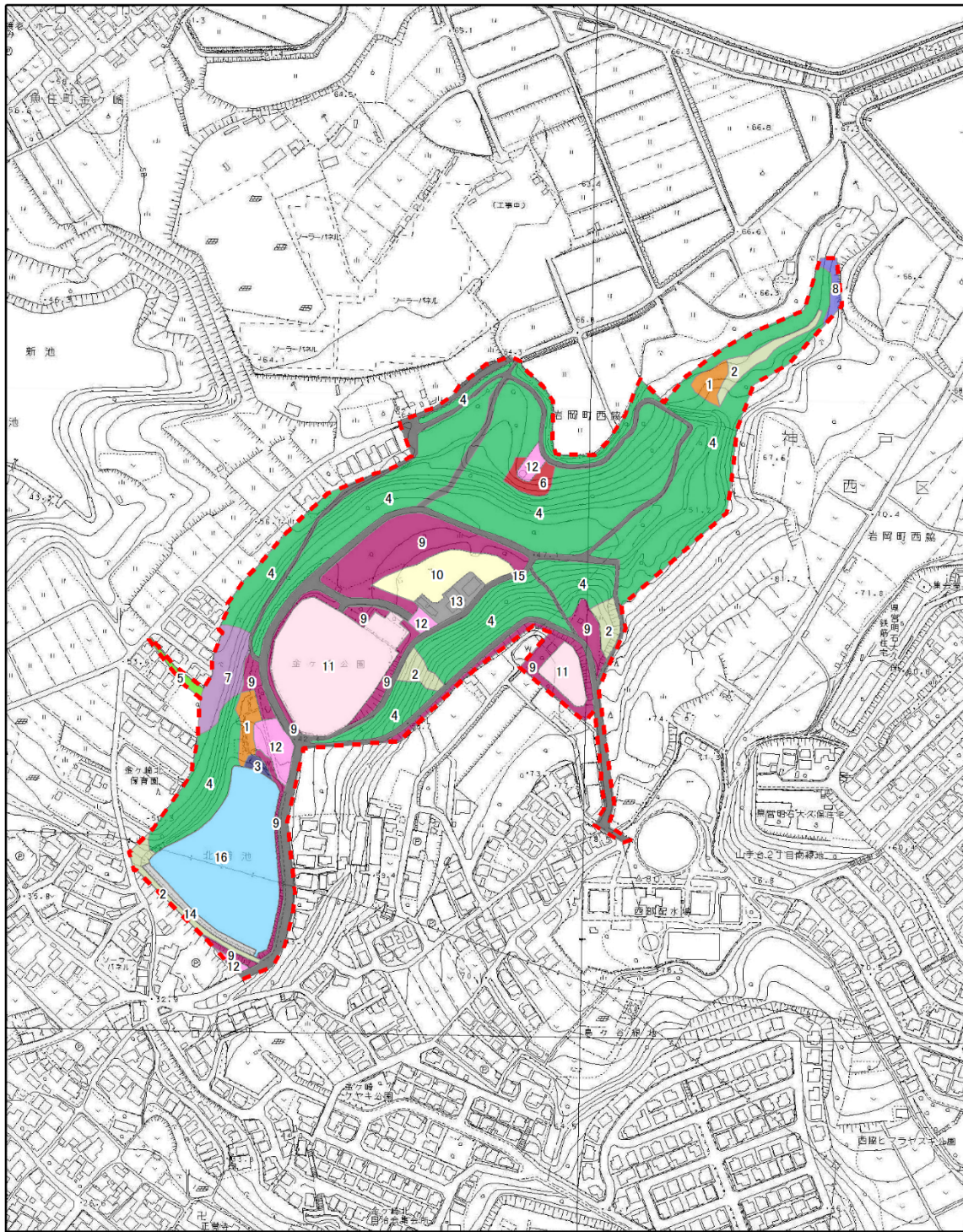
※重要種、外来種の選定基準は報告書 p6 を参照。

3. 過年度調査との比較

















平成3～4年度、平成17年度に行われた金ヶ崎公園の生物調査結果と今年度調査結果を比較した。調査の時期や方法、回数に違いがあるため単純に比較はできないが、公園内の草地の減少と樹林への遷移及び植栽の増加、北浦池流入部の水生植物群落の衰退が、生物相の変化に影響を及ぼしている可能性が考えられた。他に全国的な分布変化の傾向や、同定知見の更新による影響も一部みられた。

4. データベース追加作業

「R3 自然環境調査等データベース」へ1,121データを追加し、データ数は29,643件となった。新規登録種は昆虫類54種、貝類1種、その他無脊椎動物1種、植物11種であった（ただしオニタビラコ（広義）が細分化されたアオオニタビラコ、アカオニタビラコを含む）。

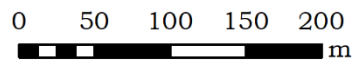


 調査範囲

- | | |
|--|--|
|  1.ミソバ群落 |  9.植栽樹林群 |
|  2.メヒバエノコロガサ群落 |  10.公園・グラウンド(草地) |
|  3.ヨシ群落 |  11.公園・グラウンド(グラウンド) |
|  4.コナラ群落 |  12.人工裸地 |
|  5.ヌルデアカメガシワ群落(低木林) |  13.構造物 |
|  6.アカマツ群落 |  14.コンクリート構造物 |
|  7.モウソウチク植林 |  15.道路 |
|  8.マダケ植林 |  16.開放水面 |



1:5,000



相観植生図

令和5年度 自然環境調査について

1 令和5年度自然環境調査

特定外来生物クビアカツヤカミキリ被害状況調査

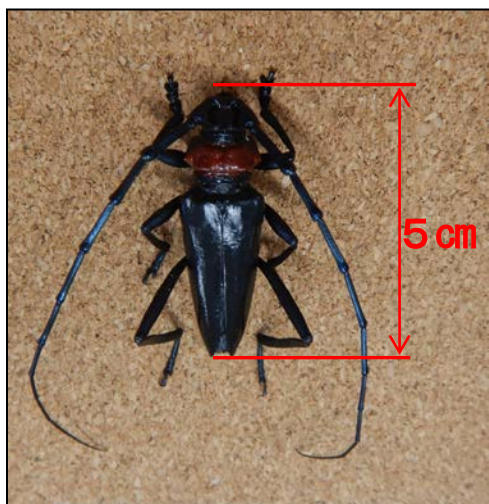
2 調査内容

来春の活動時期に被害の拡大が想定される、石ヶ谷公園を中心とする2 km圏内を重点地域とし、市域の被害状況の調査。併せて発見時に早期防除。

3 参考

2022年6月27日(月)に、石ヶ谷公園内において、兵庫県内で初めて特定外来生物のクビアカツヤカミキリが確認され、公園周辺を調査した結果、成虫(雄6匹、雌2匹)を捕獲し、フラス(幼虫が排出するフンが混ざったもの)が出る被害木21本を確認しました。

これまでに被害木を6本伐採、残りの木に初期対策として、薬剤(リバイブ)注入の処理を行っています。



成虫 (オス)



フラス(幼虫が排出するフンが混ざったもの)



1本のサクラから10数匹の幼虫を確認



2年前(令和3年)に産卵されていることが判明

クビアカツヤカミキリは人体に害はない外来昆虫ですが、サクラやモモなどバラ科の樹木の中に入り込み、木の内部を食い荒らし、農業被害や倒木などの被害を発生させます。

兵庫県内では、2022年7月に神戸市で8月に芦屋市でも確認されています。近隣では大阪府や徳島県で2015年に侵入が確認されています。

特定外来生物ナガエツルノゲイトウ対策について

ナガエツルノゲイトウの原産は南アメリカで水辺の湿った環境に生える多年草で、茎の長さは1 m以上にもなり、匍匐した基部から数多く分枝し、発根する。

茎切片による栄養繁殖が極めて旺盛であり、急激に増殖する植物である。

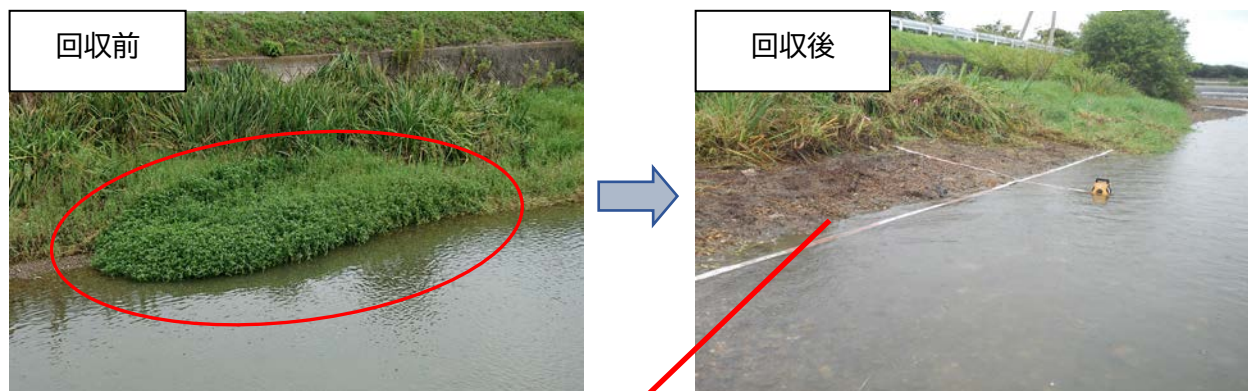
明石市では、2020年1月に瀬戸川で初確認され、現在も定着が確認される状況である。

1 対策実施状況

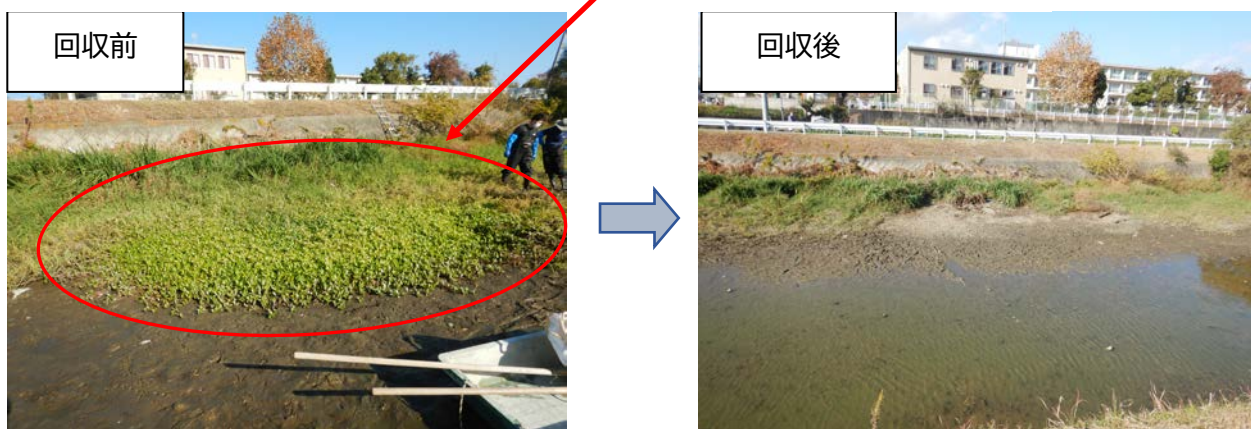
対策実施日	内容
令和4年 3月 6日 (日)	寛政池防除作業 (大規模作業)
令和4年 6月 24日 (金)	寛政池防除作業 (洪水吐付近) シート設置
令和4年 8月 12日 (金)	清水川防除作業
令和4年 8月 24日 (水)	瀬戸川防除作業 (回収540kg)
令和4年 11月 15日 (金)	瀬戸川防除作業 (回収470kg)

2 対策作業

2021年8月20日 瀬戸川ナガエツルノゲイトウ駆除



2022年11月15日 1年後再度繁殖



3 今後について

回収済みの場所からも再繁殖が見受けられる状況である。また、定着箇所が増えている状況であることから、これ以上の分布拡大を防止するため、専門家の指導の下、生物多様性あかし戦略推進会議のメンバー及び関係機関で連携し早期発見、早期駆除に努める。